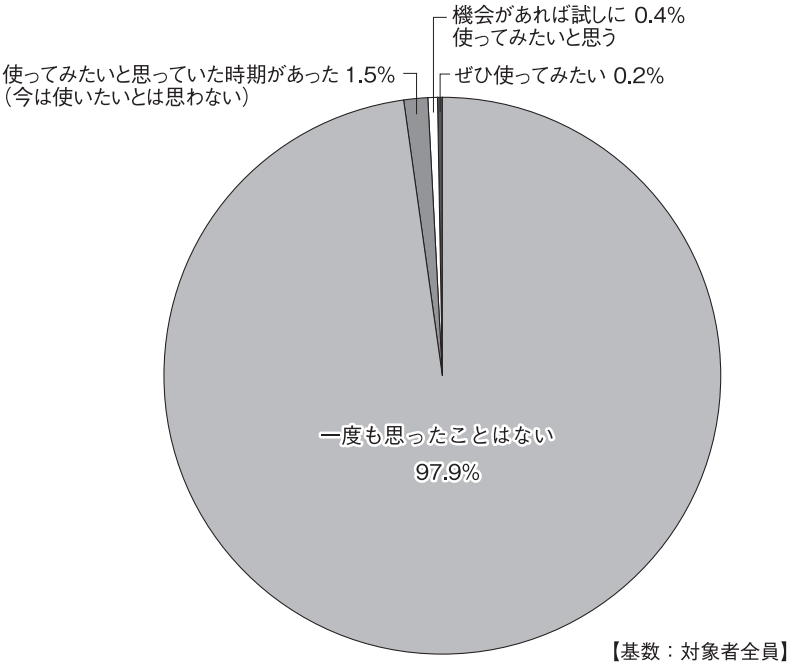
薬物への興味

問5-3 あなたは薬物（脱法ドラッグを含む）を使ってみたいと思ったことがありますか？



薬物の使用は、ダメ、ゼッタイ

薬物を使ってみたいと思ったことがあるかという問いに対して、97.9%の学生が、「一度も思ったことはない」と回答した。

その一方で、「機会があれば試しに使ってみたいと思う」や「ぜひ使ってみたい」という回答を選択した学生も、希少ではあるが存在した。興味や外的ストレスからの一時的な脱却という理由から選択したものと類推するが、「１度だけ試してすぐ止めるつもり」という安易な理由で薬物を利用し、深刻な薬物依存症に陥るケースも多く存在する。

ゲートウェイ理論という、飲酒や喫煙が薬物乱用の入り口となるという理論がある。この理論には否定的な意見もあり、化学的に立証されたものではない。しかし、クロス集計で喫煙状況別に「使ってみたいと思っていた時期があった」の回答比率を比較すると、タバコを一度も吸ったことがない学生が0.8%なのに対し、ときどき喫煙する学生は10.4%、毎日習慣的に喫煙する学生は9.7%と、奇しくも、ゲートウェイ理論を裏付けるかのように、現喫煙者の方が薬物への関心が高いことを示す結果となった。

薬物入手が容易になり、薬物乱用の裾野が学生や一般市民層に拡大している現在、薬物に対する正しい知識を身につけるとともに、誘われてもしっかり断る勇気をもつことが重要であろう。